

「ふくしまの農育」推進事業について

令和4年4月 農村振興課

<背景・目的>

- 福島県の農村地域
 - 高齢化、過疎化による地域力の低下
- 地域の子どもたち
 - 農村の環境とのふれあい、学びの機会減少
- 農業・農村の多面的機能の維持・保全
 - 土地改良施設等への理解不足

農村地域を学びの場として活用することで、

- ・農地、土地改良施設の役割
 - ・農業・農村地域の大切さ
 - ・自然環境の大切さ
 - ・食・命の大切さ
- への理解促進

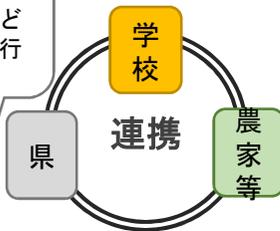
- 豊かな感性と深い見識
 - 農業・農村への興味・関心
- を持つ、次世代を担う子供たちの育成

「田んぼの学校・畑の学校」 実践モデル事業

事業主体： 県（農林事務所）

「田んぼの学校」又は「畑の学校」のいずれかを実施する小学校に対し、県が経費の一部を支出し、農家等の協力を得ながら農業の専門的知識に係る指導・助言を行う。

農作業に係る経費の一部を支出します。
米・野菜の育て方など農業に関する指導を行います。



「生きもの調査」事業

事業主体： 県（農林事務所）

生きもの調査を実施する小学校に対し、県が経費の一部を支出し、淡水魚類の専門家等の協力を得ながら地域に生息する生物や周辺環境に関する知識に係る指導・助言を行う。

調査に係る経費の一部を支出します。
魚類、水生昆虫類など生物やその生息環境に関する指導を行います。



「ふくしまの農村学びの場」事業

事業主体： 県（農村振興課、農林事務所）

農業・農村の多面的機能を保全していくことの意義、重要性を認識してもらい、地域への関わりを持つ意識を深めてもらうことを目的として、県内在住の小学生～大学生を対象に、農業生産に欠かせない施設の造成過程を見学する現場研修会を行う。

現場研修に係るバス代や保険料を支出します。
工事現場の案内、説明を行います。



<期待される効果>

(子ども達にとって)

- 農作業の楽しさ、大変さ、収穫の喜びを知ることにより、**農業への興味や関心が育成**される
- 農村地域の役割や**多面的機能の保全の意義、重要性についての理解が促進**される

(地域にとって)

- 自然環境に対する豊かな感性や見識を持つ住民の広がりによる、**地域環境の見直しや活性化へのきっかけづくり**となる

(本県農業にとって)

- 本県の農業・農村振興に係るPR・情報発信となる

ふくしまの農業・農村の
持続的な発展へ